

“ニッセイの森”友の会
(公益財団法人 ニッセイ緑の財団)



ニッセイ未来を育む
森づくり

「豊かな緑を地域の財産として育み、かけがえのない地球環境を次世代へ継承していきたい」という考えのもと“ニッセイの森”友の会は(公財)ニッセイ緑の財団とともに森づくりに取り組んでいます。平成4年からこれまでの21年間に植えた苗木は131万本を超え、“ニッセイの森”は43都道府県の187カ所(約436ha)に広がっています。“ニッセイの森”の植樹と育樹(下草刈り・除伐等)には、従業員もボランティアとして参加し、環境意識の啓発にもつながっています。

また、緑化への取組を積極的に行っている自治体と協力し、公園や埋立地等での植樹・育樹や、里山の整備活動にも力を入れています。

京都モデルフォレスト協会の活動にも賛同し、2007年に協定を締結しました。

※“ニッセイの森”友の会は、日本生命グループの従業員を主な会員とするボランティア組織で、会員からの寄付により、苗木代や活動経費をまかなっています。

京都モデルフォレスト活動

“ニッセイの森”友の会では、2007年より、京丹波町和田において植樹・育樹活動を行っています。

2012年度は、京丹波町和田での下草刈りにボランティア計43名が参加しました。



参加者一同



下草刈りの様子



作業後、昼食中のひととき

モデルフォレスト活動への
想い

平成4年、「100万本の植樹運動」として全国の国有林での植樹活動をスタートし、毎年10万本ずつ植樹、2003年には100万本を達成しました。2004年からは、「ニッセイ未来を育む森づくり」として、植樹に加え、これまで植えた苗木が大きく育つよう育樹活動にも取り組んでいます。

これらの活動に、ボランティアとして毎年約1,000名の従業員が参加し、環境問題への意識の浸透を感じています。

近年では、国有林の少ない都市部において、自治体等と協力するなどして植樹・育樹活動に取り組んでいます。その中で、京都モデルフォレスト活動に賛同し、2007年より京丹波町和田での植樹・下草刈りを行っています。

今後もこれらの活動を通じ、少しでも環境保護のお役に立ちたいと考えています。



“ニッセイの森”
友の会 事務局長
南野 嘉治

活動データ

◆企業・団体

名称：“ニッセイの森”友の会

所在地：〒100-8288 東京都千代田区丸の内1-6-6
日本生命 CSR推進室内

◆協定

締結年月日：2007年11月30日

協定メンバー：京丹波町

◆活動

フィールド所在地：京丹波町和田

面積：0.39ha

“ニッセイ井手の森”(京都)



参加者一同



枝払いの様子